

平成30年度家畜ふん尿処理利用研究会
「堆肥化装置からのエネルギー・資源回収とその利用および畜舎衛生技術」
開催要領

1. 開催趣旨

家畜ふん堆肥の利用促進は、資源循環型・環境保全型の農畜産業を推進する観点から重要な位置づけとなっている。家畜排せつ物法に基づく「家畜排せつ物の利用の促進を図るための基本方針」が2015年3月に更新され、目標年度を2025年度とした新たな基本方針が示される中、低コストで実用的かつ効果的な技術向上による対応として「家畜排せつ物のエネルギーとしての利用の促進」があげられている。現在、日本国内において中小家畜を中心に普及している密閉縦型堆肥化装置は、良質な堆肥ができる、堆積型の堆肥化施設に比べて堆肥化期間が短いなどの利点を有するが、多量の電力を必要とするなど経営上の負担は大きいなどの課題もあるため省電力化やエネルギー回収技術の開発が求められている。また畜舎における衛生環境はふん尿処理との関係も深く、我が国に対応した自動化・ロボット化技術、環境情報などに注視する必要がある。これらの関連する最近の研究成果などについて話題提供を行い、情報交換を行う。

2. 開催日時 平成30年11月8日(木) 13:15~17:00、9日(金) 9:00~12:00

3. 開催場所 農研機構 畜産研究部門 大会議室(茨城県つくば市池の台2)

4. 主催 農研機構 畜産研究部門

共催 農研機構 中央農業研究センター

5. 内容

第1日目: 11月8日(木)

挨拶 13:15 - 13:25
基調講演「畜産環境対策の現状と行政の動向」

農林水産省 生産局 畜産部 畜産振興課 課長補佐 吉田 敏男 13:25 - 14:00

【堆肥化装置からのエネルギー・資源回収とその利用】

座長 農研機構 畜産研究部門 上級研究員 石田 三佳

(1) 密閉縦型堆肥化装置の省エネ化技術『スマートコンポスト』

農研機構 畜産研究部門 主任研究員 中久保 亮 14:00 - 14:35

(2) 床暖房利用のための密閉縦型堆肥化装置からの安定熱回収について

神奈川県畜産技術センター 主任研究員 高村 眞由美 14:35 - 15:10

休憩 15:10 - 15:20

(3) 離乳子豚への回収温水給与効果の検討

農研機構 畜産研究部門 主任研究員 芦原 茜 15:20 - 15:55

(4) 回収資材を用いた混合堆肥複合肥料の開発

朝日工業(株) 農業資材本部 開発部 肥料開発課 松岡 英紀 15:55 - 16:30

(5) 総合討論 16:30 - 17:00

第2日目: 11月9日(金)

【畜舎衛生技術】

座長 農研機構 畜産研究部門 研究領域長 鈴木 一好

(1) 日本型豚舎洗浄ロボットの開発

農研機構 農業技術革新工学研究センター 研究員 松野 更和 9:00 - 9:35

(2) 日本型敷料散布機の開発

オリオン機械(株) 酪農事業本部 川口 隆 9:35 - 10:10

休憩 10:10 - 10:20

(3) 畜舎におけるエアロゾル制御技術

東京農工大学大学院 連合農学研究科 名出 貴紀 10:20 - 10:55

(4) 農場衛生管理からみた家畜ふん尿処理とその利用

東京農工大学大学院 農学研究院 教授 竹原 一明 10:55 - 11:30

(5) 総合討論 11:30 - 12:00

6. 参集範囲: 農林水産省生産局、地方農政局、技術会議事務局、独立行政法人、国立研究開発法人、都道府県試験研究機関、普及指導機関、大学、民間団体、民間企業等

7. 事務局: 農研機構 畜産研究部門 企画管理部 企画連携室 運営チーム

〒305-0901 茨城県つくば市池の台2 Tel. 029-838-8593、 Fax. 029-838-8606